

2. 食品の摂取状況

— 米類は依然として減少の傾向 —

昭和62年調査における国民1人1日当たり食品群別摂取状況は表3のとおりである。前年に比べて、食品群間には多少の増減はみられるが、全体的にはわずかながら減少している。

また、昭和50年以降の年次推移をみた場合、植物性食品については図17のとおり、米が依然として減少傾向にあり、その他についても緑黄色野菜を除いて同様な傾向がうかがわれる。

一方、動物性食品については図18のとおり、2年連続して減少していた乳・乳製品が増加の傾向を示す一方、他の動物性食品はほぼ横ばいである。

さらに、酒類、菓子類など嗜好食品についてみた場合図19のとおり、砂糖類、菓子類及び調味料は減少の傾向にあり、逆に酒類は増加の傾向がうかがわれる。

図17 食品群別摂取量の年次推移（植物性食品）
（昭和50年=100）

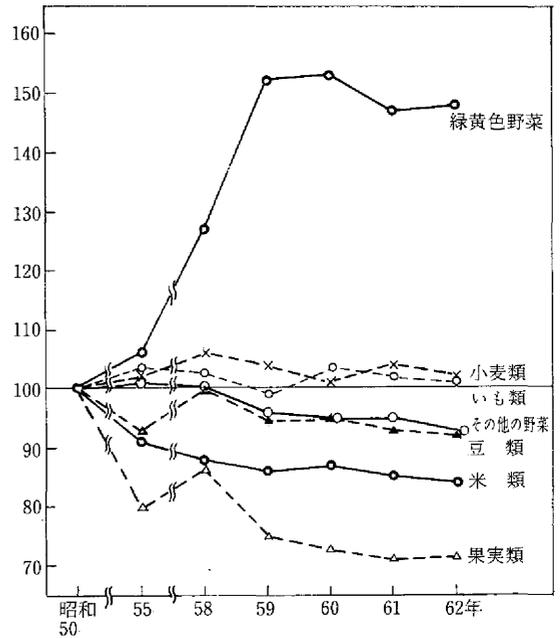


表3 食品群別摂取量の年次推移（国民1人1日当たり：g）

	昭和50年	昭和55年	昭和58年	昭和59年	昭和60年	昭和61年	昭和62年	62年/61年 ×100
穀類 { 米類	248.3	225.8	217.9	214.3	216.1	212.1	208.8	98.4
小麦類	90.2	91.8	95.3	93.8	91.3	93.7	91.9	98.1
いも類	60.9	63.4	63.1	60.6	63.2	62.5	61.3	98.1
油脂類	15.8	16.9	18.0	18.4	17.7	16.8	17.4	103.6
豆類	70.0	65.4	69.9	66.2	66.6	65.3	64.4	98.6
緑黄色野菜	48.2	51.0	61.1	73.1	73.9	70.9	71.1	100.3
その他の野菜	198.5	200.4	198.0	189.8	187.8	189.2	183.5	97.0
果実類	193.5	155.2	166.4	145.0	140.6	137.0	137.9	100.7
海藻類	4.9	5.1	5.7	5.3	5.6	5.5	5.5	100.0
調味嗜好飲料	119.7	109.4	113.3	117.4	113.4	113.3	121.2	107.0
魚介類	94.0	92.5	93.4	91.5	90.0	90.5	92.7	102.4
肉類	64.2	67.9	70.7	71.3	71.7	70.8	69.1	97.6
卵類	41.5	37.7	40.4	40.3	40.3	41.2	40.1	97.3
乳・乳製品	103.5	115.2	129.4	124.0	116.7	117.9	121.5	103.1

図18 食品群別摂取量の年次推移（動物性食品）
（昭和50年=100）

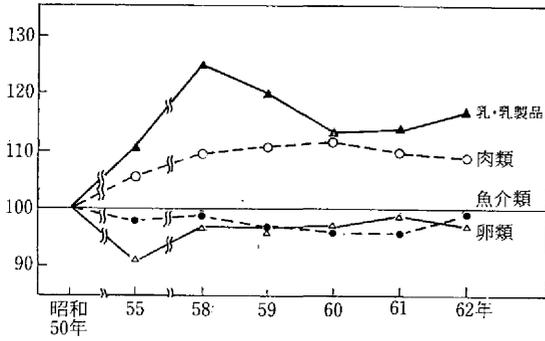
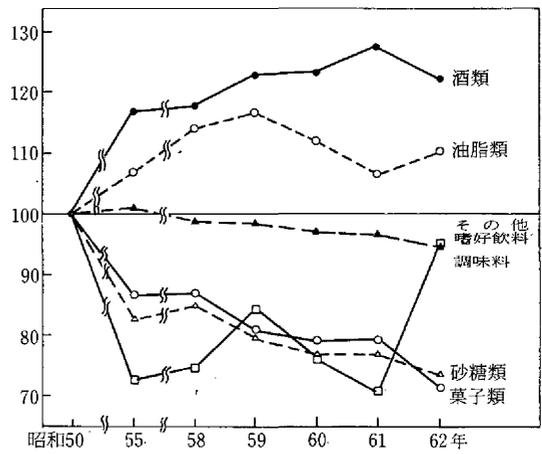


図19 食品群別摂取量の年次推移（嗜好食品）
（昭和50年=100）



— 単独世帯の食品摂取状況はかなり偏りがみられる —

次に、単独世帯の食品摂取状況を全世帯のそれと比較すると図20のとおりであり、いも類の28.7%をはじめ、その他の野菜、豆類及び動物性食品が10%以上回っている一方、調味嗜好飲料は35.3%も多いなどかなりアンバランスな摂取となっている。

図20 全世帯と単独世帯の主要食品群別摂取状況の比較
（全国=100）

